

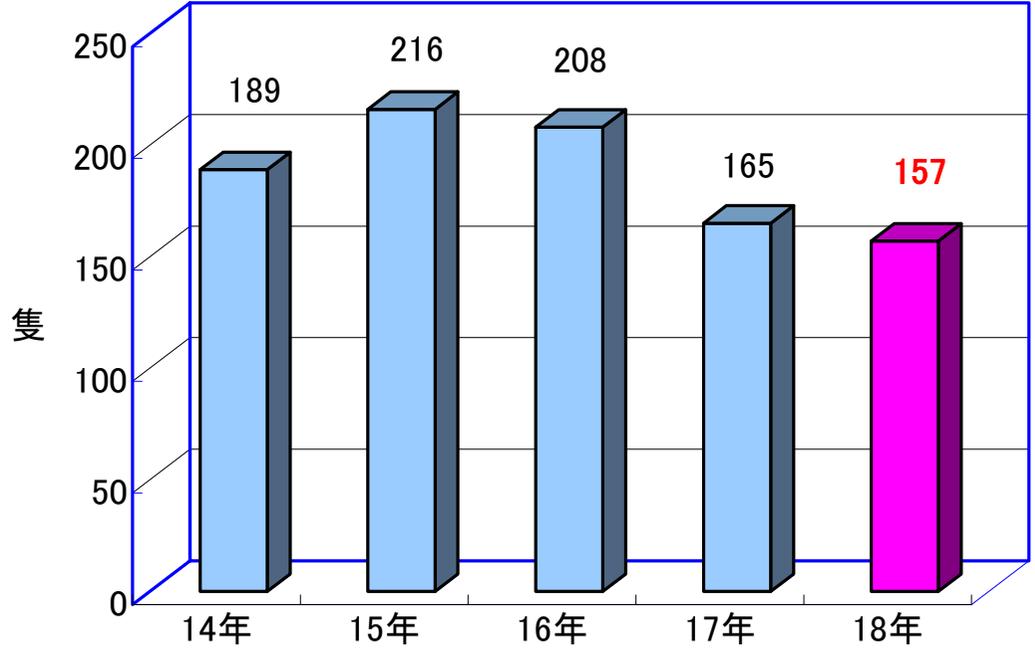


平成18年12月
合計17隻

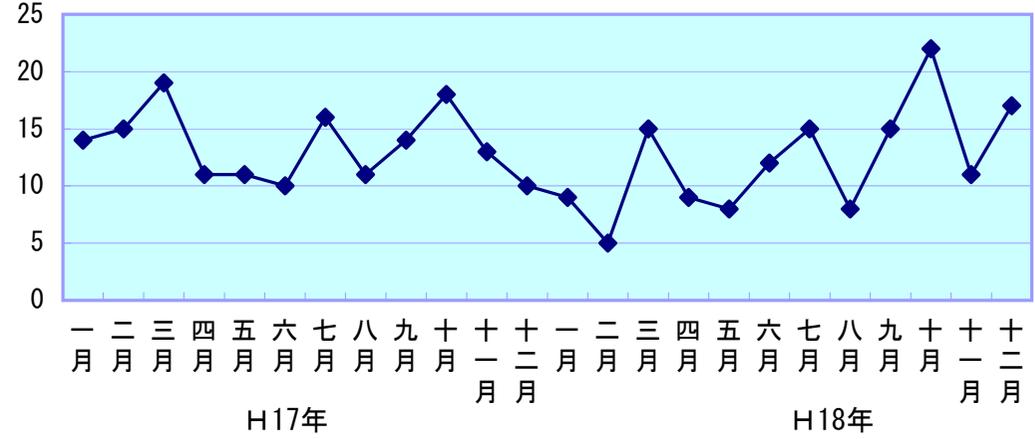
種類別	
衝突	10
乗揚	2
転覆	1
浸水	0
推進器障害	0
舵障害	0
機関故障	2
火災	0
爆発	0
行方不明	0
運航障害	0
安全障害	0
その他	2
17	
県別	
山口県	2
福岡県	1
佐賀県	2
長崎県	7
大分県	5

県別の表は、各県に所在する海上保安部署において取り扱った海難の合計数を示しています。

過去5年間における管内漁船海難発生隻数の推移



漁船海難発生隻数の推移

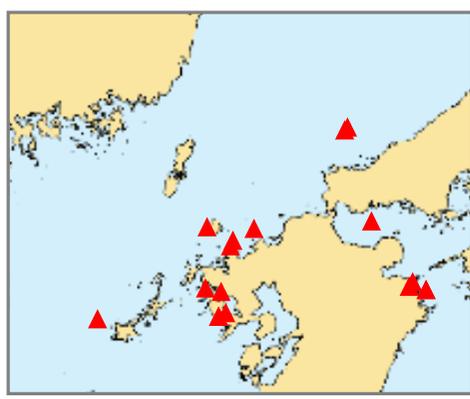


12月の管内漁船海難発生隻数は**17隻**となっています。

平成18年1年間での管内漁船海難発生隻数は**157隻**で、過去5年間では最も低い発生隻数となっています。特徴としては**衝突・乗揚げ海難が99隻で全体の60%**を占めており「適切な見張り」等基本的な事項が励行されていないことが伺えます。

また、死者・行方不明者数については、**12名!!!前年比5名増**であり、中でも海中転落は、**救命胴衣を着用していれば助かった可能性が高い**と考えられる事例が多く見受けられます。

平成18年12月 漁船海難発生地点図



漁船海難月報
 平成十八年十二月分
 (速報)
 第七管区海上保安本部